

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

足利赤十字病院倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	悪性高血圧の臨床像および腎病理像の検討		
1. 研究の目的と方法	研究の目的：悪性高血圧は高度の高血圧(多くは180/120 mmHg以上)を呈し、しばしば重篤な腎症を併発し、透析が必要となることがあります。血圧を下げる降圧薬により血圧コントロールができなかった時代には、重篤な臓器障害を引き起こし、致命的となることもありましたが、降圧薬により血圧コントロールができるようになった現在でも、腎障害から継続的な透析が必要な患者さんがいます。腎障害を引き起こすような悪性高血圧では、腎臓の病変の評価およびその後の予後を予測するために、腎生検を行うことがあります。しかしながら、悪性高血圧の急性期では血圧が高く、腎生検による出血リスクが高いことから、腎生検が行われないことも多いです。そのため、現在までのところ、悪性高血圧での腎臓の組織に関して十分研究が進んでおりません。そこで本研究では、当院で過去に悪性高血圧で腎生検を施行された患者さんの、身体・血液・尿データならびに腎生検組織を使用させていただき、臨床所見と腎臓の組織との関連および腎予後を検証いたします。また正常腎とされる腎移植ドナーとなった方の移植した腎臓(ドナー腎)および悪性高血圧以外の高血圧による良性腎硬化症の患者さんの腎臓とも比較させていただきます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年12月31日までを予定しています。		
3. 対象となる方等	2013年1月1日より2022年10月31日までの間に、足利赤十字病院で高血圧ガイドライン2019に記載されている加速型-悪性高血圧の診断基準を満たし、かつ腎生検を施行された患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腎生検組織	
	(2) 試料の取得の方法	診断のためにすでに採取された腎生検組織です。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身体所見、眼底所見、検査結果(血液検査、尿検査、腎生検結果)など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	足利赤十字病院 腎臓内科
		氏名	平野景太
	(2) 当施設の長	足利赤十字病院 院長 室久俊光	
(3) 試料・情報の 管理責任 者	足利赤十字病院 腎臓内科 平野景太		

	(4) 共同で研究を実施する主機関とその責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 岡部 匡裕（機関の長：横尾 隆）
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付(情報)，追跡可能な方法で郵送（試料）</p> <p>試料・情報の利用開始日：2020年10月～</p>	
【問い合わせ先】	<p>機関名：足利赤十字病院 腎臓内科</p> <p>研究責任者：平野景太（ひらの けいた）</p> <p>連絡担当者：平野景太（ひらの けいた）</p> <p>電話番号：0284-21-0121</p> <p>対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。